

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年5月1日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 18
校長 田中 成年

<子供ど真ん中教育>

～思いやりの心と主体性～

早いもので5月に入りました。子供たちも学校生活に慣れ、毎日笑顔で生活する姿が見られます。育友会総会でもお話したのですが、今年度畝刈小学校では、「**子供ど真ん中**」を学校教育目標に掲げ、「**豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成**」を目指しています。

「**子供ど真ん中**」教育については、子供が主語の子供が主役の教育活動の展開を行います
が、その中で大切なことは、「**子供自身が主役であるということ**を自覚すること」

さらにその中で、次のことが大切になると考えています。

- **子供たちそれぞれが自分を大切に、周囲の友達も大切にする**こと
- **自らの夢や目標に実現のために、今、しなければいけないことやできることを自分で考え実行に移すことができるように**すること
- **善悪の判断を付け、正しく行動すること** 等

学校では、子供たちが意欲をもって学習に向かうことができるように、日々先生方が授業改善に取り組み、工夫を凝らした授業を展開しています。

係活動や当番活動、高学年は委員会活動等、子供たちが自分たちや周りの人たちのために主体的に活躍する場面を作っています。

今年度は、「**自分や相手を大切にする思いやりのある心**」を育てるために、**道徳科、平和教育・人権教育を主軸**に、子供たちの**心を豊かにする活動**に力を入れています。

どれもすぐに結果は出ませんが、粘り強く時間をかけて取り組んでまいります。それには、保護者や地域の皆様のご理解とご協力が必要になります。昨年度もお伝えしましたように「**子供は地域の宝**」「**地域の子供は地域で育てる**」地域で何か起きた時にはまずは地域の大人で子供たちに対応し、育てる。学校も地域の中の一員として、学校としてできることに最善を尽くしてまいります。

子供たちの健やかな成長のために、自身の子供たちだけではなくその周囲にいる子供たちにも声をかけ、善い行いをしたときには褒め、善くないことをしたときには愛情をもって叱り、正しい方向に導くよう、家庭・学校・地域で手を携えてまいりましょう。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。